

岐阜県防災ヘリ運航管理のあり方検討会（第1回）議事要旨

日 時 令和2年1月21日（火）13時30分～15時30分

場 所 岐阜県議会西棟第2会議室

出席者 別紙のとおり

議事次第

1 開会

2 副知事あいさつ

3 座長選出、あいさつ

○委員の互選により、小林委員を座長に選出

4 議事

（1）岐阜県防災ヘリの運航管理の現状と論点

（2）論点に応じた議論

（3）その他

○事務局から資料説明後、議論。

○委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・資料4、「○これまでの総括」と「○運航再開に向けた必要条件」にまとめられた論点設定について異論はない。ただ、各論点は複合的に関係しており、この点にも留意して事実関係を整理の上、各論点について議論を深めることが必要。
- ・発生した事案の根底には、組織風土に起因するガバナンス（「マネジメント」よりも「ガバナンス」の方が概念として相応しい）の問題があり、ここに踏み込んで職員全員がチームで現場力、組織力、人間力を発揮できるような手法（CRM：Crew Resource Management）を導入すべき。
- ・整備は、誰がやっても同じことができるようにチェックリストを作って文書化し、それを安全管理者が確認するなど、システム化すべき。外部の監査を入れたり、外部のアドバイスを受けることも有効。
- ・加えて、この際、整備だけでなく、運航や運航管理を含め全体像を捉えて改善策を検討すべき。
- ・パワー・ハラスメントについて早期対処ができなかった組織体制には問題があり、パワー・ハラスメントを防止し、コンプライアンスを強化するには、組織全体への教育と管理する仕組みが必要。

○次回の検討会は2月18日（火）に開催予定。

別紙 岐阜県防災ヘリ運航管理のあり方検討会（第1回）出席者

○委員

小林 恭一	東京理科大学総合研究院教授
塚原 利夫	日本ヒューマンファクター研究所副所長
竹内 治彦	岐阜協立大学学長
是枝 晶之	朝日航洋株式会社常務取締役

○オブザーバー

総務省消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室
名古屋市消防局消防部消防航空隊
岐阜県消防長会
セントラルヘリコプターサービス株式会社

○岐阜県

平木 省	副知事
西垣 功朗	危機管理部長
富田 剛	総務部次長
西 哲也	危機管理部次長
岩田 秀樹	危機管理部防災課長
森島 直人	総務部人事課人事管理対策監
葛西 孝啓	危機管理部防災課防災航空センター長
川木 賀仁	危機管理部防災課航空管理監
谷藤 昌浩	危機管理部防災課消防航空隊長